

デイトタイプ レシプロシエーキング インキュベーター

光源として20W蛍光灯、プラントルクス等が10本取付け可能で、最大10,000ルクスの照度が得られ、スイッチにより半分の点灯も可能です。さらに、24時間タイマーと連動させて、最小15分から最大24時間まで自由な照射条件が作れます。

レシプロの振盪機構はつまみひとつで自由に速度が可変でき、回転数もデジタル表示します。振盪パネルはワンタッチで交換可能、オプションとして御要望に合せたどのようなパネルも作成いたします。

恒温機構も10℃から60℃の広帯域で使用でき、恒温振盪培養機としての使用はもちろんのこと、陽光恒温器としても使用でき、藻類の増殖試験等に最適です。長時間試験にも充分使用できるようにデジタル設定の運転用タイマーを備え、経時後自動OFF、または自動ONが可能です。さらに高温防止器などの安全装置も装備していますので無人運転等多様な運転操作が安心して行えます。

※この外にも各種振盪培養機があります。カタログ御請求ください。



温度範囲10℃～60℃

仕様

- 外 法: W900×D780×H1,520mm
- 器内有効内法: W720×D650×H 520mm
(ランプ無し 660mm)
- 振盪パネル: 600×600mm(500mm ϕ 坂口プラスチック25本掛、その他試験管、フラスコ、パネル等任意取付可)
- 振盪巾: 70mm
- 振盪数: 30～200R.P.M. (回転計付)
- 温度範囲: 10℃～60℃
- 温度分布: $\pm 1^\circ\text{C}$ 温度精度: $\pm 0.5^\circ\text{C}$
- 安全装置: ヒーター断線、センサートラブル、異常高温を
警報加熱・冷却装置 自動カット機構付

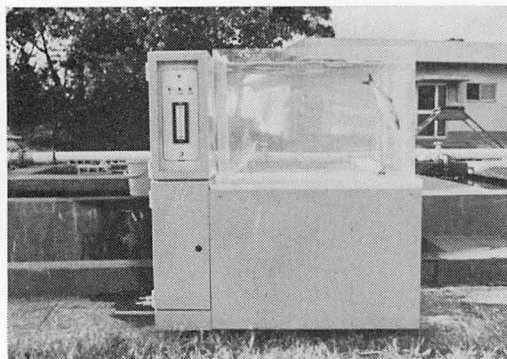
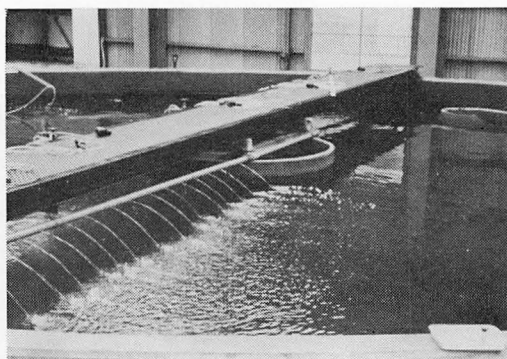
試験研究 栽培漁業 **アクアトロンシステム**

試験研究用・生産養殖用に安定的に調温水を供給し、温度・流量・換水率・流水方式・エア補給量等水生生物生育の主要因を、飼育目的に合わせて、様々な条件に設定することができ、安定した生育環境が得られます。そのため長期にわたる育成においても、その再現性の良さにより、優れた試験養殖が可能です。

◎アクアトロン施設

大規模な飼育設備である程、その目的と、装置とのトータルバランスを考えねばなりません。

小系のアクアトロン施設は、そのバランスの良さもさることながら、省エネルギーをも考え合わせて設計されており、コスト・パフォーマンスの高いシステムとなっております。



◎アクアトロン・ポータブル

小中規模ながら、高精度条件を要求される施設に合った、小型水温調節装置です。海水・淡水の区別なくお使いになれるので、設置場所を選びません。

〈仕様例〉 型式 APU-253A

温度 10~35°C ±0.5°C

水槽 500ℓ

エア 送水スプレー式エアレーション

目的にあった使いやすいシステム創り----- 私たちは追求します

Kōito

小系工業株式会社

**環境調節
事業部**

営業部：〒108 東京都港区港南2-6-10三矢ビル ☎(03)472-3921(代表)

☎大阪支店(06)362-9391

☎広島支店(082)262-1341

☎札幌支店(011)231-0460

☎九州支店(092)431-0838

☎仙台支店(0222)25-7954

☎筑波業務所(0298)51-2311

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布致しますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員各号1,250円、非会員各号2,000円、30巻4号(創立30周年記念増大号、1-30巻索引付)のみ会員3,750円、非会員5,000円、欠号：1巻1-2号、4巻1,3号、5巻1-2号、6-9巻全号。
2. 「藻類」索引 1-10巻、価格、会員1,000円、非会員1,500円。11-20巻、会員1,500円、非会員2,000円。創立30周年記念「藻類」索引、1-30巻、会員2,500円、非会員3,000円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類25巻増補。1977。A 5版、xxviii+418頁。山田先生の遺影・経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文50編(英文26,和文24)を掲載。価格5,500円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. ABBOTT・黒木宗尚共編。1972。B 5版、xiv+280頁、6図版。昭和46年8月に札幌で開催された北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20編の研究報告(英文)を掲載。価格3,000円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977。B 5版、65頁。昭和49年9月に札幌で行なわれた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4論文と討論の要旨。価格700円。

Publications of the Society

Inquiries concerning copies of the following publications should be sent to the Japanese Society of Phycology, c/o Laboratory of Phycology, Tokyo University of Fisheries, Konan 4chome, Minato-ku, Tokyo, 108 Japan.

1. **Back numbers of the Japanese Journal of Phycology** (Vols. 1-28, Bulletin of Japanese Society of Phycology). Price, 1,500 Yen per issue for member, or 2,500 Yen per issue for non member, price of Vol. 30, No. 4 (30th Anniversary Issue), with cumulative index (Vol. 1-30), 4,500 Yen for member, or 6,000 Yen for non member. Lack: Vol. 1, Nos. 1-2; Vol. 4, Nos. 1, 3; Vol. 5, Nos. 1-2; Vol. 6-Vol. 9, Nos. 1-3 (incl. postage, surface mail).

2. **Index of the Bulletin of Japanese Society of Phycology.** Vol. 1 (1953)-Vol. 10 (1962) Price 1,500 Yen for member, 2,000 Yen for non member, Vol. 11 (1963)-Vol. 20 (1972), Price 2,000 Yen for member, 2,500 Yen for non member. Vol. 1 (1953)-Vol. 30 (1982). Price 3,000 Yen for member, 3,500 Yen for non member (incl. postage, surface mail).

3. **A Memorial Issue Honouring the late Professor Yukio YAMADA** (Supplement to Volume 25, the Bulletin of Japanese Society of Phycology). 1977. xxviii+418 pages. This issue includes 50 articles (26 in English, 24 in Japanese with English summary) on phycology, with photographs and list of publications of the late Professor Yukio YAMADA. ¥ 6,000 (incl. postage, surface mail).

4. **Contributions to the Systematics of the Benthic Marine Algae of the North Pacific.** Edited by I. A. ABBOTT and M. KUROGI. 1972. xiv+280 pages, 6 plates. Twenty papers followed by discussions are included, which were presented in the U.S.-Japan Seminar on the North Pacific benthic marine algae, held in Sapporo, Japan, August 13-16, 1971. ¥ 4,000 (incl. postage, surface mail).

5. **Recent Studies on the Cultivation of *Laminaria* in Hokkaido** (in Japanese). 1977. 65 pages. Four papers followed by discussions are included, which were presented in a symposium on *Laminaria*, sponsored by the Society, held in Sapporo, September 1974. ¥ 700 (incl. postage, surface mail).

昭和59年9月10日 印刷
昭和59年9月20日 発行

©1984 Japanese Society of Phycology

禁 転 載
不 許 複 製

編集兼発行者

三 浦 昭 雄

〒108 東京都港区港南4-5-7
東京水産大学 植物学教室内

印 刷 所

学術図書印刷株式会社

〒176 東京都練馬区豊玉北2丁目13番地

発 行 所

日 本 藻 類 学 会

〒108 東京都港区港南4-5-7
東京水産大学 植物学教室内
振 替 東京 4 139176

Printed by GAKUJUTSU TOSHO Printing Co.

本誌の出版費の一部は文部省科学研究費補助金(研究成果刊行費)による。

藻 類

目 次

オリビエラ, E. C. de・プラステイ, E. M.: ブラジル産オゴノリ数種の生活史…………… (英文) 203	
本村泰三・阪井與志雄: <i>Laminaria</i> , <i>Desmarestia</i> の配偶子形成に対する鉄とホウ素による制御…………… (英文) 209	
瀬戸良三・饒 欽止: 中国産淡水紅藻類アヤギス属の1変種 <i>Caloglossa leprieurii</i> (MONT.) J. AG. var. <i>angustata</i> JAO (紅藻類, イギス目) の形態学的研究…………… (英文) 216	
熊野 茂: 中国四川省産カワモヅク属の2種, <i>Batrachospermum intortum</i> JAO と <i>B. sinense</i> JAO (紅藻ウミゾウメン目) について…………… (英文) 221	
川口栄男・増田道夫: 紅藻 <i>Gigartina prolifera</i> HARIOT の所属…………… (英文) 227	
鱒坂哲朗: 培養によるコゴメネバリモ (褐藻類ナガマツモ目) の生活史…………… (英文) 235	
有賀祐勝・三浦昭雄: アマノリ属色彩変異体の吸光スペクトルと色素含量…………… (英文) 243	
小林 聡・松岡数充: <i>Protopteridinium conicum</i> (GRAN) BALECH (Dinophyceae) のシストと游泳体…………… 251	
市村輝宜・笠井文絵: 異型接合によるトゲミカツキモの有性生殖…………… 257	
水野 真: 海産樹枝状群体珪藻 <i>Berkeleya rutilans</i> の季節的消長と大きさの変化…………… 262	
岩本康三: カワノリ及びその近縁種の形態学的観察…………… 269	
◆ ◆ ◆	
ノート	
籾 熙・安井 肇: 日本産ダルススの雄性配偶体…………… 279	
津村孝平: 国立科学博物館の珪藻標本について…………… 283	
津村孝平: 混種プレパラートへの個体指示標識のつけ方…………… 285	
◆ ◆ ◆	
ニュース…………… 287	
学会録事…………… 288	